

AIに接する一般の人は、実は3つの層に分かれる



重要なのは、AIに触れているかどうかではなく、「AIとどう役割分担して成果につなげているか」である。

C層：AIに触れないままだと、少しずつ取り残される

C層の現在と未来

使わない

AIは特別な人だけの道具ではなく、
使えて当たり前の「基礎スキル」へ。

遅れる

C層は全体として減少していくが、
最後まで移行できない人は
不利になりやすい。

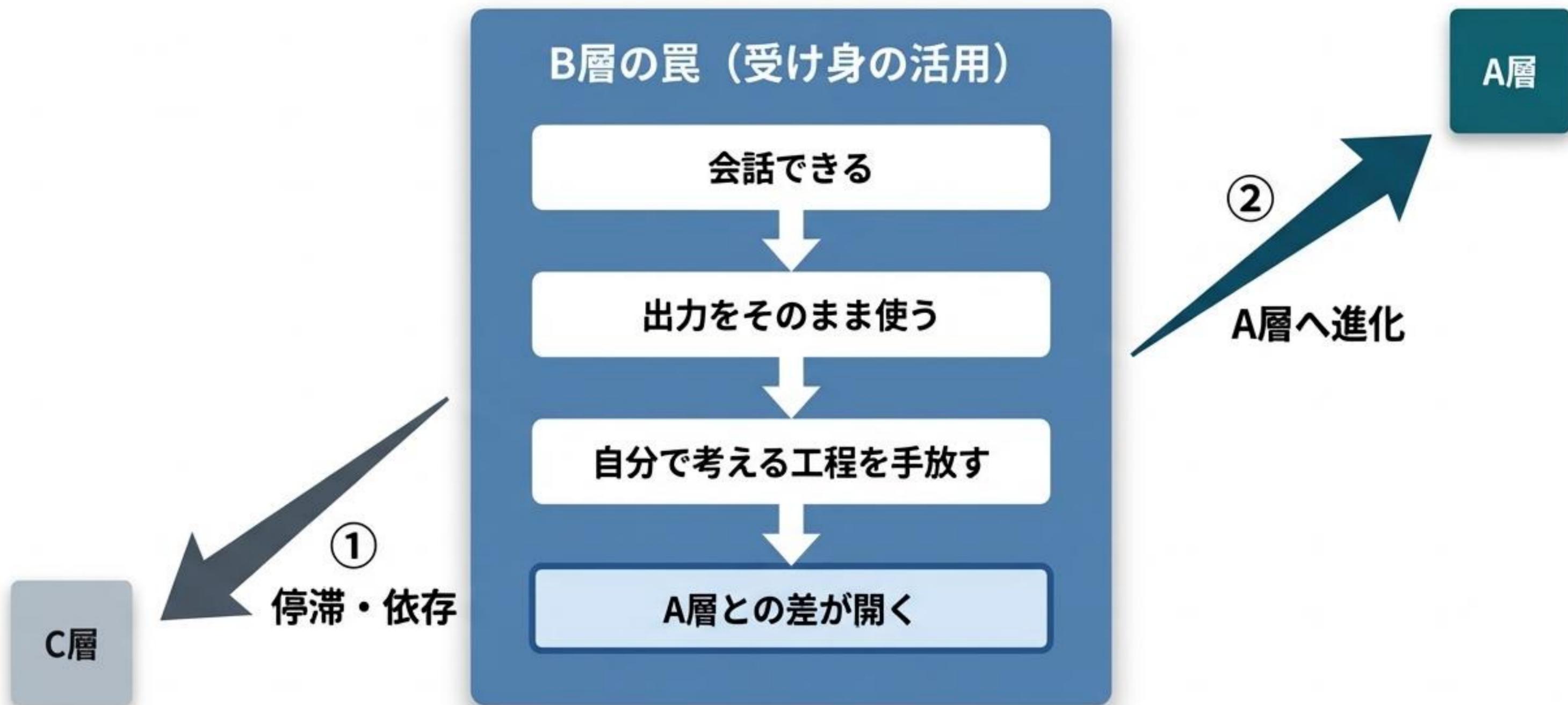
取り残される

問題は「才能の有無」ではなく、
AIに近づく「最初の一步」
を踏み出せるかどうか。

B層

A層

B層：AIを使っているけど、そのままではA層に仕事を奪われる



「AIを使える人」と「AIで成果をつくれる人」は違う。

A層：これから最も重要なのは、 AIと共創できる力

速度向上

品質向上

発想拡張

再現性向上

人が司令塔、AIは実行支援

「人」の役割

目的設定

判断

優先順位づけ

最終統合

「AI」の役割

発想支援

下書き作成

情報整理

変換

分析

検証補助

B層

C層

単に「AIを使う」から「AIと共創する」へ。
この役割分担のシフトが、これからの成果を左右する最大の分岐点になる。